

RNAi実験 各手法のコスト&メリット比較一覧表

実験方法	コスト	メリット	デメリット
合成siRNAを用いたRNAi	高い	簡単 早い	RNAi効果持続期間が短い
in vitro Transcription T7 Kit (for siRNA synthesis) と二本鎖RNA切断酵素を用いるRNAi	安い	デザインする必要がない 比較的簡単	効果のあるsiRNA配列の情報が得られない RNAi効果持続期間が短い
Naked DNAを用いたRNAi	安い	比較的簡単 大量調製が可能	一過性のRNAi効果 導入効率が悪い場合がある
アデノウイルスベクターを用いたRNAi	高い	導入効率が高い 静止期細胞にも感染可能	一過性のRNAi効果 ウイルス調製に手間がかかる
レトロウイルスベクターを用いたRNAi	中間	RNAi効果は永遠に持続 比較的手間がかかる	静止期細胞には感染しない